

# ニホンジカの被害防止

「仕方がない」から「確かな防除」へ



シカの被害を防ぐには、個人プレーで対応するよりも集落ぐるみの団体戦が効果的です。何をやってもダメだとあきらめる前に、シカの生態や対策のポイントを知り、作戦を立て、みんなで取り組みましょう。



**生態と分布** 対策を考えるには シカをよく知ることが大切です

## 何でも食べる厄介者

草食性の動物で、ほとんどの植物の葉や樹皮、根や果実も食べます。環境によって食べるものを変えることができます。

## 夜に活動

食べては休みを一日中繰り返していますが、人間が活動しない夜に人里へ出てきます。

## 高いジャンプ力

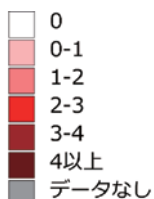
身の危険を感じたときは、2m 以上のジャンプ力があり、急峻な斜面も一気に登ります。



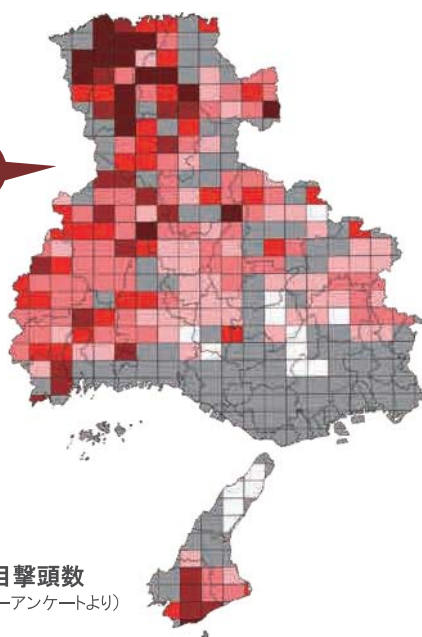
## エサが豊富なら毎年出産

交尾期は9月中旬～11月上旬、出産は5～6月、1頭を出産します。1歳秋には性成熟しますが、1歳での妊娠率は餌条件により20～70%程度まで大きく変化します。なお、2歳以上の成獣の妊娠率は、80～90%以上と極めて高くなります。

色が濃いところほど多く生息しています



1人1回出猟あたりの目撃頭数  
(令和3年度 狩猟期ハンターアンケートより)



## 兵庫県における分布

本州部では瀬戸内側の大都市周辺を除き、県下全域に広く生息しています。

南但馬地域から西播磨地域が分布の中心でしたが、近年は南北に拡大しつつあります。

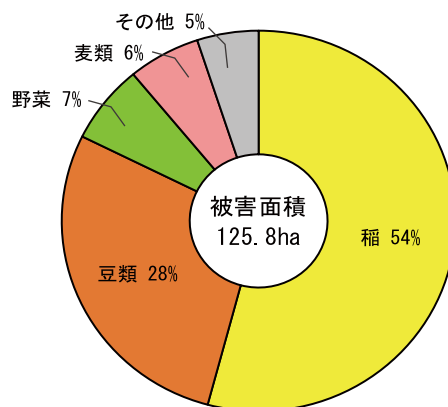
淡路島地域では、主に南東部の地域(諭鶴羽山系)を中心に生息し、北部及び南西部に拡大しつつあります。



## 被害状況

農地では、稲、豆類、野菜、麦類など多くの農作物の被害が報告されています。被害の大きい水稲では、田植え後から稲刈りまで全ての段階で水田に侵入し、踏み荒らしたり、葉や穂を食害したりします。

シカはなわばりをつくらないため、農耕地や草地では、比較的大きな群れになります。同じ田畑に繰り返し侵入し、被害が甚大になることもあります。



シカによる農作物被害（令和3年度）



## シカを集落に寄せつけないために

### 防護柵の種類と使い分け

#### 「個別柵」と「集落柵」

防護柵には、個人の田畑を囲う「個別柵」と、集落全体を囲う「集落柵」があります。個別柵は、設置や見回り、点検修理などが比較的簡単ですが、それぞれの農地を囲うので経費がかさみます。集落柵は、うまく設置すると大きな効果を発揮しますが、地形によっては張り方に工夫がいる、見回りや点検修理に労力がかかるなどの問題があります。立地条件や費用、効果などを考えて、選びましょう。

#### 金網柵



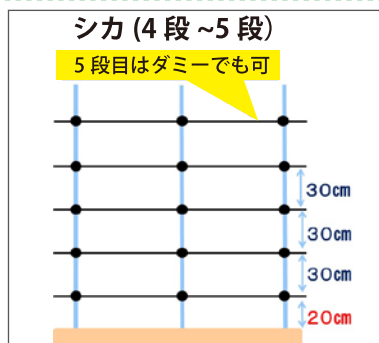
- 長所**
  - ・耐久性が高い。
- 短所**
  - ・設置経費が高い。
  - ・見回りや点検修理に労力がかかる。
- ポイント**
  - ・高さは2m以上。
  - ・編み目は15cm以下。  
(大きいと押し広げられます。)

#### ネット柵



- 長所**
  - ・設置経費が安い。
  - ・設置しやすい。
- 短所**
  - ・耐久性が低い。
  - ・噛み破りなどにより侵入されやすい。
- ポイント**
  - ・高さは2m以上。
  - ・網目は10cm以下。

#### 電気柵



- 長所**
  - ・設置経費が比較的安い。
  - ・設置しやすい。
- 短所**
  - ・こまめな電圧チェックや漏電防止の草刈りが必要。
  - ・電気を通しにくいアスファルト道などの近くには張れない。
- ポイント**
  - ・高さは1.4m以上。
  - ・4段張り以上。
  - ・電圧は5000v以上。



電圧チェッカー

柵の設置は各種補助メニューがありますので、お住まいの市役所・町役場にご相談ください。



## 無意識の餌付けをなくす

農作物を防護柵で囲っていても、集落の中にエサになるものがたくさんあると、シカは餌付いてどんどん集落にくるようになり、隙を狙って農作物を食べたり、人なれが進んで大胆な行動をするようになります。集落内にあるシカのエサをできるだけ減らして、無意識の餌付けをなくしましょう。

### 野菜くずの放棄

大切に育てている野菜も、いらなくなった野菜くずも、シカにとっては同じ魅力的な「エサ」です。野菜くずを畑近くに捨てることは、シカにおいしい餌場があることを教えているようなものです。田畑に行くとおいしいエサがまとまってあるということをシカに学習されないように、野菜くずは埋めるなどして適切に処理しましょう。



畑にまかれた野菜くず

### ひこばえの処理

稲刈り後に生えてくるひこばえも、シカにとってはおいしい「エサ」になります。早生品種であれば、稲刈り直後の9～10月上旬と12月下旬の2回、中晩生品種であれば12月に1回耕起すると、ひこばえの発生を防ぐことができます。



## 集落みんなで対策を

### 集落防護柵のメンテナンス

どんなに丈夫な柵でも、時間がたてばどこかにほころびや穴ができてシカに侵入されてしまうので、定期的な点検や補修が欠かせません。見回り当番を決めて特定の人に負担がかからないようにする、補修のための積立をするなど、柵の点検や補修がうまく続けられるように、みんなで話し合しましょう。



### エサ場として魅力のない集落づくり

集落内のシカのエサを減らしたり、無意識の餌づけをなくしたりするには、集落全体での取組が効果的です。また、山裾で犬を散歩させたり、冬に青草が生えないように畦の草刈り時期を変えたりして、シカにとって魅力のない集落づくりを進めましょう。



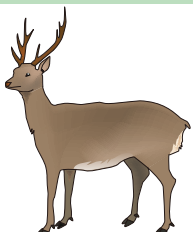
#### トピック

### シカとイノシシの 痕跡の違い

同じ偶蹄目ですので、足跡を見分けることは難しいですが、イノシシは足の後ろにある副蹄の跡が残ります。シカは残しません。また、イノシシは地面に掘り返しや、ぬたうちの跡を残すことがあります。

#### シカ

長さ約5cm、幅約4cm  
(前足と後足の大きさはほぼ同じ)



副蹄の跡が残らない  
※雪の上や傾斜地では残ることがある

#### イノシシ

長さ約7cm、幅約5cm  
(前足と後足の大きさはほぼ同じ)



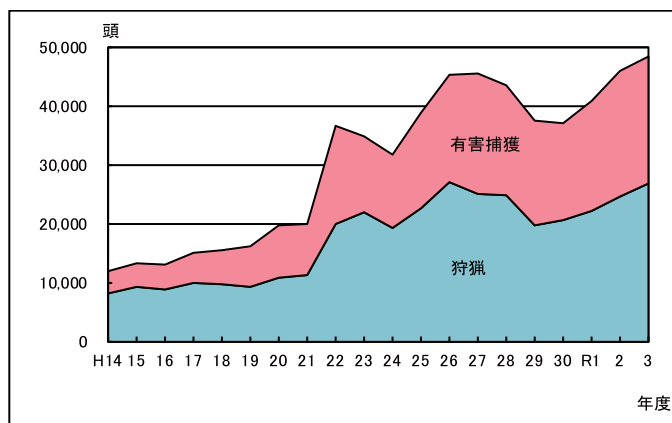
副蹄の跡が残る



## シカの捕獲について

シカを捕獲することは、重要な被害対策の一つです。兵庫県では、狩猟と有害捕獲により、年間 4.6 万頭の捕獲を目標にしています。(令和 4 年度)

野生動物を捕獲する場合は、狩猟免許が必要であり、狩猟期間外は有害捕獲の許可が必要です。狩猟免許の取得についてはお近くの農林(水産)振興事務所に、また有害捕獲許可についてはお住まいの市町の担当者にお尋ねください。



シカの捕獲数推移(H14～R3年度)



## 集落みんなで対策

### 集落防護柵のメンテナンス

どんなに丈夫な柵でも、時間がたてばどこかにほころびや穴ができてシカ・イノシシに侵入されてしまうので、定期的な点検や補修が欠かせません。見回り当番を決めて特定の人に負担がかからないようにすることや補修のための積立をするなど、柵の点検や補修がうまく続けられるように、みんなで話し合ひましょう。



### エサ場として魅力のない集落づくり

集落内のシカ・イノシシのエサを減らしたり、無意識の餌づけをなくしたりするには、集落全体での取組が効果的です。また、林縁の見通しをよくしたり、集落内のやぶを刈り払うなど、シカ・イノシシにとって隠れる場所やエサのない集落づくりを進めましょう。



### 活用できる補助事業

集落みんなで対策を行うために活用できる補助事業として、「鳥獣被害集落自立サポート事業」をご紹介します。

#### メニュー① カルテ、処方箋の策定・環境整備支援

専門業者が現地を見て、実状に応じたカルテ、処方箋を作成し、集落が自立して被害対策を実施できるような体制づくりのお手伝いをします。

#### メニュー② 被害対策の実践支援

柵の管理方法や害獣の捕獲技術など、被害対策の実践方法をアドバイザーが現地指導し、被害対策のとりまとめ役となる「集落リーダー」を養成します。

※詳しくは、お住まいの市役所、または町役場の鳥獣被害対策担当部署にお問い合わせください。



兵庫県  
森林動物研究センター  
Wildlife Management Research Center, Hyogo

森林動物研究センターでは、シカの生態調査や被害に強い集落づくりの指導・助言を行っています。

